

教えて!

医療・介護のこと

～高額療養費制度とは～

病気やけがで医療機関にかかる時、健康保険証を提示すれば、自己負担額は原則3割負担(70歳未満の場合)になります。しかし、入院等で医療費がかかり、支払いが数十万円や数百万円ほどかかったとすればどうでしょう。こうした高額な医療費がかかったときでも上限を設けて負担を抑えてくれる制度が高額療養費制度です。

この制度については加入する医療保険から事前に「**限度額適用認定・標準負担額減額認定証**」を発行してもらうことで、医療機関の窓口での支払いを負担の上限額までにとどめることができます。患者さんの負担を少しでも減らすことができる家計にやさしい制度です。詳しくはご加入の保険者、もしくは医事課までご相談ください。

高額療養費等、医療費のお問い合わせがありましたら総合受付(医事課)までお願いします!



■お問い合わせ/おおぞら病院 医事課

TEL 089-989-6620

受付/月～金曜日 8:30～17:30 (土曜日は11:30まで)



お知らせ

愛媛県初 上肢リハビリロボット:CoCoroeAR2導入

CoCoroeAR2は、手首から腕にかけて専用の装具をつけて機器の上部からワイヤーで吊るし、訓練用スイッチを押す反復動作のなかで筋収縮を学習するロボットです。患者さんの運動能力に合わせて、腕の重量を適切に持ち上げることができます。それにより、筋力の弱い患者さんでも容易に反復運動を行えます。



また、運動と同期して筋肉に対して電気刺激や振動刺激を与えることで、意図して運動を行えるようにサポートします。さらに、目標物を見て感じる視覚刺激と、目標物に到達して音が確認できる聴覚刺激などの様々な情報を用いながら患者さん自身では困難な動作の反復練習が可能となりました。

当院では今年4月に安川電機製の上肢リハビリロボット:CoCoroeAR2を導入し、上肢麻痺の改善を図っております。なお今年度から新設された運動量増加機器加算対象認定機器となっております。

脳卒中痙縮に対してボトックス治療はじめました



脳卒中の後遺症の一つとして手足の筋肉が緊張しすぎてつっぱってしまう「痙縮」という状態があります。手指が握ったままと開きにくい、肘が曲がり伸びにくいなどの症状です。

ボトックス治療とは、ボツリヌス菌が作り出す天然のたんぱく質を有効成分とする薬を筋肉内に注射し筋肉のつっぱりを軽減する治療法であり、併せて注射後に十分なリハビリを行うことが重要となります。手足(上肢・下肢)痙縮に対して保険診療認可されており、脳卒中治療ガイドラインで推奨されている治療です。

当院ではボトックスチームを結成し、昨年7月より手足(上肢・下肢)痙縮に対するボトックス治療を開始しました。深部にある筋肉を対象とする場合、筋肉の触診のみではなくエコー(超音波)装置や筋電刺激装置を併用し、より効果的な治療を行っております。詳しくは当院ホームページをご参照ください。



理念

私たちは、地域の皆さまに親しまれ、信頼され、満足される病院を目指します



Vol.23 2020.7

ご自由にお持ち帰りください。

基本方針

1. 患者さん中心の医療
「笑顔であいさつ」を心掛け、患者さん中心の心の通った医療を行います。
2. 質の高いチーム医療
「専門職としての知識・技術の向上」に努め、質の高いチーム医療を実践します。
3. 地域に貢献できる医療
「ともに生きる」の精神で、地域の皆さまと共に安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。



〈特集〉数字で見る おおぞら病院
〈リハビリテーション部門〉

●教えて! 医療・介護のこと「高額療養費制度」



【電車利用】
●伊予鉄市内電車・城北線 萱町六丁目駅 下車徒歩5分
●伊予鉄郊外線・高浜線 古町駅 下車徒歩10分
【バス利用】
●伊予鉄バス・運転免許センター線 北宮西町バス停下車 徒歩3分

愛媛県松山市六軒屋町4-20
TEL 089-989-6620



おおぞら病院ホームページQRコード

おおぞら病院 検索

〈特集〉

数字で見る おおぞら病院

リハビリテーション部

当院のリハビリテーション部は回復期病棟・一般・地域包括ケア病床・外来・訪問リハ各セクションに分かれて活動しています。すべて365日体制で、日常生活動作改善の為に個別リハビリに加え、自主練習指導・病棟での起立練習などを行い、患者さんの早期退院を目指しています。脳血管疾患においては促通反復療法を中心にロボット・トレーニングマシン等最先端のリハビリ機器を使用して治療に取り組んでおり、回復期病棟においては高い実績指数を継続しています。教育の一環として研修会・学会参加も毎年コンスタントに行われており、平成30年度は9例の学会発表の実績を上げています。リハビリ専門医も2名在籍しており、2016年には日本リハビリテーション医学会研修施設に認定されています。毎年、各分野における資格取得を目指しているスタッフも増えてきています。リハ部はこれからもスタッフ一同切磋琢磨しながら邁進して参ります。

リハビリテーション部 副部長(理学療法士) 立花 紀子



私たちは
鹿児島流です!



〈鹿児島大学名誉教授 川平和美先生による促通反復療法指導〉



〈BWSTT:部分体重負荷トレッドミル〉

〈SONIX:振動刺激全身運動装置〉



理学療法士 PT
(Physical Therapist)

42名



言語聴覚士 ST
(Speech Therapist)

14名

(2020年4月1日現在)

作業療法士 OT
(Occupational Therapist)

23名



- 認定理学療法士 運動器 4名 / 脳血管 3名 / 補装具 2名
- 地域 2名 / 管理・運営 1名
- 日本糖尿病療養指導士 2名

- 愛媛県糖尿病療養指導士 1名
- 3学会合同呼吸療法認定士 1名
- 車椅子安全整備士 1名
- シーティングコンサルタント 1名

資格取得者
(2020年6月時点)

回復期リハビリテーション病棟(施設基準1)の実績指数 (期間:平成31年4月~令和2年3月)

〈全体〉 実績指数: **53.4**

〈脳血管〉 61.3

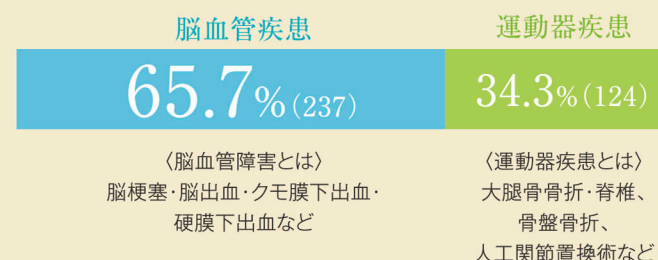
〈運動器〉 45.5

〈説明〉

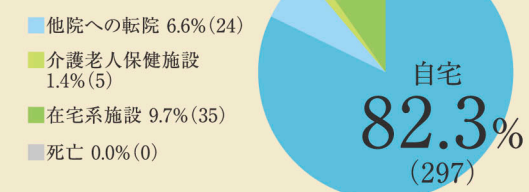
実績指数とは患者さんの日常生活機能を如何に効率よく回復させることができるかという指標です。患者さんの日常生活機能を「FIM:機能的自立度評価表」で数値化し、入院日数と標準算定日数(疾患ごとに定められた入院期間の上限)から算出されます。最も高い実績指数が必要な施設基準1を取得し、その要件の実績指数40以上を大幅に上回る改善率が見られます。
※施設基準は1~6まであり、施設基準1が一番高い実績指数を求められます。



入院患者内訳 / 回復期病棟(2019年4月~2020年3月)



退院実績 / 回復期病棟 (2019年4月~2020年3月)



リハビリテーション病棟での毎日

365日/年間 毎日リハビリ実施体制のもと 療法士によるリハビリ時間:1日最長3時間

- + マシントレーニング
- + 入院デイケア・体操
- + 集団起立訓練
- + 自主トレーニング (必要に応じて看護師支援あり)

当院では脳卒中治療ガイドラインで推奨されているリハビリを実践しています。その一つがかつてNHKスペシャルで「リハビリ革命」として紹介された鹿児島大学名誉教授川平和美先生の考案された促通反復療法です。新築移転オープン以来、昨年末まで毎年川平先生よりご指導頂き、2017年11月鹿児島大学リハビリ科より促通反復療法実施施設として認定して頂きました。さらに電気刺激療法や振動刺激療法も併用し高いリハビリ治療効果を挙げています。また昨年より脳卒中後手足の筋肉がつっぱる「痙縮」という症状に対するボトックス治療も開始しています。そして今年から愛媛県初となる上肢リハビリロボットCoCoroeAR2を導入致しました。出来る限りその人らしい生活を取り戻せるように、これからもスタッフ一丸となって最先端リハビリに取り組んで参ります。

副院長・リハビリテーション部 部長(日本リハビリテーション医学会 専門医・指導医) 上甲 隆敏

